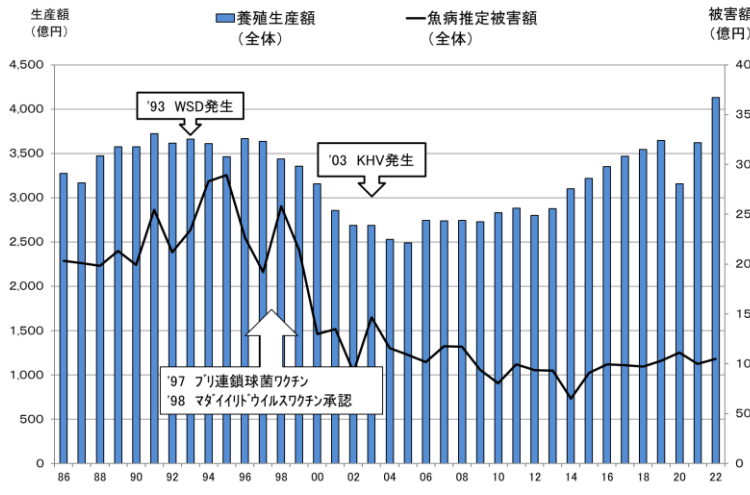


魚病被害の発生状況（確定値）

1. 魚病被害の発生状況の推移（全体）



令和4年（2022年）の魚病推定被害額は約105億円（前年約100億円）であり、被害率（＝魚病推定被害額／養殖生産額）は2.5%（前年2.8%）であった。

このうち、ぶり類、うなぎ、ひらめ、その他の海産魚類、しまあじ等で増加し、まだい、くろまぐろ、ふぐ類、くるまえば、あゆ等で減少した。
（※）生産額及び魚病推定被害額（全体）：海面は、ぶり類、まだい、くろまぐろ、ぎんざけ、ふぐ類、くるまえば、しまあじ、ひらめ、まあじ及びその他の海産魚類、内水面は、うなぎ、こい、あゆ、にじます及びにじます以外のます類の合計。

注）1 養殖業者へのアンケート調査のデータに基づき作成。

2 魚病推定被害額は、「（農林水産統計による生産額÷調査経営体の生産額）×調査経営体の被害額」によって算出。

2. 魚病被害の発生状況の推移（魚種別）

